

2012年度 外部評価会議 議事録【公開用】

日時：6月6日（水） 15:00～16:00

場所：非常勤講師室

外部評価委員：樋口氏（(株)三井住友建設）、山口氏（太田土木事務所）

担当：清水，鵜崎

■カリキュラム、授業のこと

- ・土木の基本科目（構造・コンクリート、地盤（土質）、水理、衛生、計画）の教育は重要。基礎学力として十分な教育を。
- ・測量については器具の使い方よりも基本事項（測量の意味、種類、誤差の扱いなど）の理解が大切。構造物設計の際に、測量図が書け、そこから構造物を作るイメージを持てるかの基本能力を養うこと。製図もCADの技術よりも、具体的な構造物のイメージが持てることで重要。例えば、2Dから3Dのイメージができるか。
- ・英語教育は全般的なニーズから言って必要。
- ・民間では、国内業務より海外業務が多い。こうした情勢からも益々必要になる。

■チームワーク力の養成について

- ・ディスカッション、コミュニケーション、プレゼン能力の養成が大切で、それがあることがチームワーク力の養成の前提。
- ・人に分かり易く説明できる能力の養成の必要性は大きい。

■PDCAを教室会議の中に納めたフレーム改正

- ・この案で良く、PDCAでメンバーを分ける必要はない。
- ・PDCAが巧く機能していることを示すことが重要で、教室会議議事録、外部評価の際に説明できればよい。

■達成度評価

- ・項目自体の評価は難しい。（例えば、グローバルな就業力など）
- ・B/Cのような数値だけで評価できるものでもない。
- ・評価指標、評価の仕方にも検討しながら決めるべき（個性をだしながら）
- ・外部評価はより多くの卒業生の意見を取り込んだらどうか（例えば、就職の際に大学説明に来るOBにお願いする。どんな学生が企業にとって必要かなど）
- ・学生自身にアンケートを行い、調べる。